

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京 YMCA 社会体育・保育専門学校
設置者名	公益財団法人 東京 YMCA

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
社会体育専門課程	スポーツインストラクター科 (2年制)	夜・通信	810 時間	80×2=160 時間	
	スポーツトレーナー科 (2年制)	夜・通信	810 時間	80×2=160 時間	
保育専門	保育科 (2年制)	夜・通信	2265 時間	80×2=160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ハンドブック（履修要項）を作成し公開。2019 年度は追加資料を作成し公開。ハンドブックは受付窓口に配置し、閲覧希望があれば貸出を行う。
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	東京 YMCA 社会体育・保育専門学校
設置者名	公益財団法人 東京 YMCA

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	現在規定が整備されていないので、2019年度の特例として申請する。2020年4月1日までに、外部人材の意見を反映することができる規定の整備を確実に実施する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考) 2020年4月1日までに、複数の外部人材の選任を確実に実施する。		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京 YMCA 社会体育・保育専門学校
設置者名	公益財団法人 東京 YMCA

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各授業科目において、学科会による授業科目の設定・講義内容の検討に基づき、担当教員がシラバスを作成している。 授業科目名、単位数、授業のねらい、授業計画、試験実施方法、評価方法、教科書・テキスト等の事項を設け、学内で統一したシラバスを作成している。 次年度のシラバスは、12～1月に担当教員が作成し、2月の学科会で確認・承認され決定される。3月末までには新年度ハンドブック(履修要項)の中に掲載され、公表される。</p>	
授業計画書の公表方法	ハンドブック(履修要項)に掲載。ハンドブックは受付窓口に配置し、閲覧希望があれば貸出を行う。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各学科で定める授業科目の履修方法により、成績評価、単位認定を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学業成績は授業科目ごとに行う試験(定期試験、実技試験等)によって評価される。本校では各授業の評価を100点満点を基準として、60点以上を合格としている。評価点数により、100～90をS、89～80をA、79～70をB、69～60をC、59～をD(不合格)として成績が通知される。 年度末には、各学生の平均成績を算出し、序列化している。それを独自奨学金や学業優秀者の選考に活用している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ハンドブック(履修要項)に掲載。ハンドブックは受付窓口に配置し、閲覧希望があれば貸出を行う。

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業要件については、各学科が定める所定の科目を所定の年限で合格することを定めている。 内容はハンドブック（履修要項）に掲載し、公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ハンドブック（履修要項）に掲載。ハンドブックは受付窓口に配置し、閲覧希望があれば貸出を行う。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京 YMCA 社会体育・保育専門学校
設置者名	公益財団法人 東京 YMCA

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPで公開している https://tokyo.ymca.or.jp/about/info.html
収支計算書又は損益計算書	HPで公開している https://tokyo.ymca.or.jp/about/info.html
財産目録	事務所備え付けで、希望があれば一般の方も閲覧可能
事業報告書	事務所備え付けで、希望があれば一般の方も閲覧可能
監事による監査報告（書）	事務所備え付けで、希望があれば一般の方も閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		社会体育専門課程	スポーツインストラクター科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼夜	2140 単位時間	960 単位時間	150 単位時間	240 単位時間	単位時間	930 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		90 人	0 人	8 人	28 人	36 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3の1を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3の3を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3の4を参照
学修支援等
（概要） 担任による面談、進路指導を実施している。また、成績不振者に対して補講を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
46 人 (100%)	1 人 (2.2%)	41 人 (89.1%)	4 人 (8.7%)
（主な就職、業界等） 総合スポーツクラブ、スイミングスクール、幼稚園、スポーツメーカー、スポーツショップなど			
（就職指導内容） 履歴書、エントリーシート作成指導、面接指導、個人面談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 健康運動実践指導者、公認水泳教師等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90 人	7 人	7.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談：進路変更先の相談や奨学金の斡旋等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		社会体育専門課程	スポーツトレーナー科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼夜	2140 単位時間	960 単位時間	150 単位時間	240 単位時間	930 単位時間	
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		110人	0人	8人	28人	36人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3の1を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3の3を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3の4を参照
学修支援等
（概要） 担任による面談、進路指導を実施している。また、成績不振者に対して補講を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
59人 (100%)	2人 (3.4%)	50人 (84.7%)	7人 (11.9%)
（主な就職、業界等） 総合スポーツクラブ、トレーニングジム、スポーツメーカー、スポーツショップなど			
（就職指導内容） 履歴書、エントリーシート作成指導、面接指導、個人面談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 健康運動実践指導者、公認アスレティックトレーナー等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
110 人	8 人	7.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談：進路変更先の相談や奨学金の斡旋等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
		保育専門課程	保育科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼夜	1,905 単位時間	660 単位 時間	1620 単位 時間	660 単位 時間	30 単位 時間	
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100 人	48 人	人	6 人	17 人	23 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3の1を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3の3を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3の4を参照
学修支援等
(概要) 担任による面談、進路指導を実施している。また、成績不振者に対して補講を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22 人 (100%)	人 (%)	22 人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 保育園、幼稚園、こども園など			
(就職指導内容) 履歴書、エントリーシート作成指導、面接指導、個人面談等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 保育士、幼稚園教諭等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	2 人	4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談：進路変更先の相談や奨学金の斡旋等		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

2. 教育活動に関わる情報

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
スポーツインストラクター科	200,000 円	600,000 円	400,000 円	
スポーツトレーナー科	200,000 円	600,000 円	400,000 円	
保育科	200,000 円	580,000 円	180,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について学校HP上に公開している https://sports.ymsch.jp/disclosure.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者として、関連団体、卒業生などを含む学校関係者評価委員を組織し、学校評価を行っている。評価内容は理事会、教職員会などで報告され、次年度以降の改善に活かされている。評価項目として、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、教育環境、財務などがある。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
団体職員	2019年4月～2021年3月	企業
団体職員	2019年4月～2021年3月	企業
高校教員	2019年4月～2021年3月	地域
会社役員	2019年4月～2021年3月	卒業生
会社員	2019年4月～2021年3月	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について学校HP上に公開している。 https://sports.ymsch.jp/disclosure.html		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://sports.ymsch.jp
--